



店舗風景

理容の良さを伝えていきたい

— 全国理容競技大会出場！

理容ホームラン 木本 佳宏さん

理容ホームランの木本佳宏さんは、今年の七月に開かれた、福岡県理容競技大会第三部で見事優勝。そして十一月十九日には全国理容競技大会に出場することになっている。

木本さんにお話を伺った。木本さんは、博多中州にある理容店「デライトヘアー高崎」で八年間修行。そこはレベルの高い店だった。先輩たちの誰もが、全国理容競技大会での好成績を目指していた。切磋琢磨して技術を磨き合う雰囲気。成長する上で実に恵まれた環境であった。

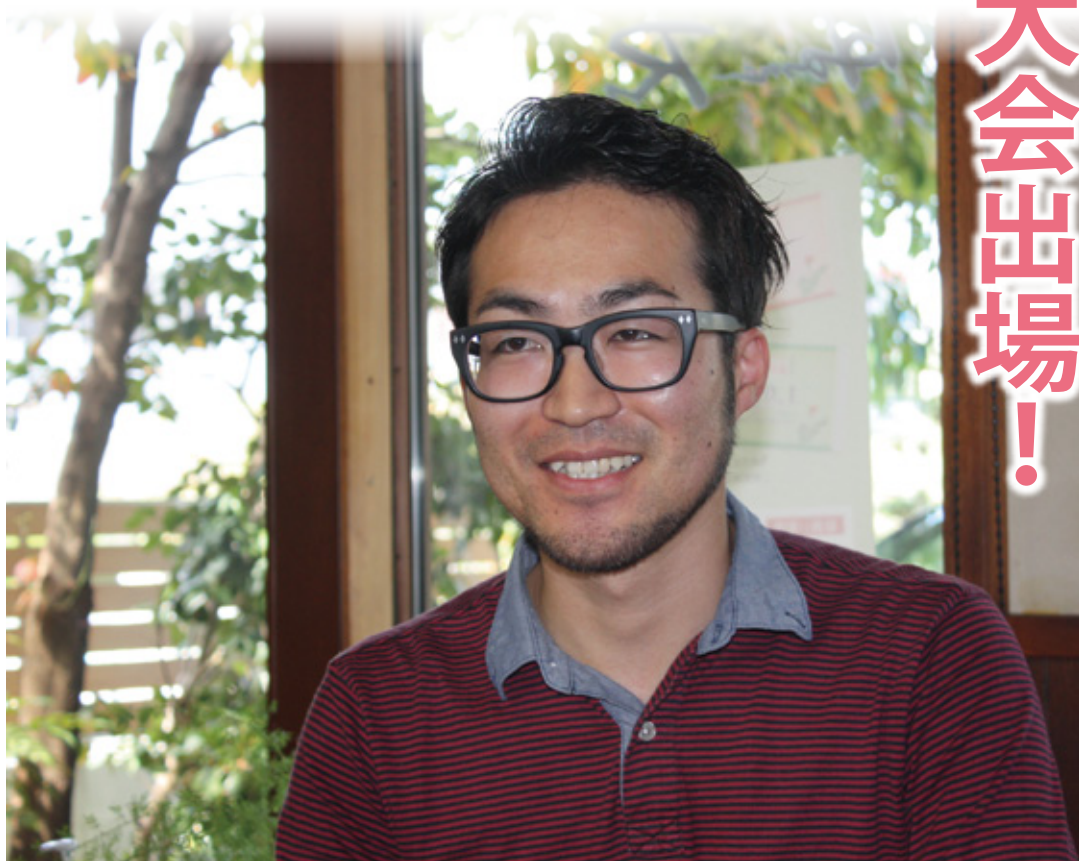
そしてその間、木本さんは通信教育で理容師免許、管理

理容師免許を取得した。

木本さんは練習の大切さを強調する。「二にも二にも練習だと思えます。私の場合、仕事終了後、毎日二時間から三時間練習しました。モデル相手に、モデルがいない場合練習用カットウィッグを使いました。」

練習の積み重ねによって、カットやスタイリングの技術だけでなく、感覚も磨かれていくそうだ。つまり「お客様の顔や頭に最も似合うスタイルがどのようなものか、見極める感覚」だ。

目標を持つことも重要と言われる。「私の場合は全国大会





店内の様子



第 64 回福岡県理容競技大会優勝（第3部）

優勝を目標にしています。」
お話を聞いていくと、何事も目標を持ち、たゆまぬ努力、練習が大切だと思えてくる。
そして五年前、福岡県理容競技大会二位になった。そして全国大会へ…。
しかし、成績は五十位前後。「当時は右も左も分からない状態で、今思えば浅かったな」という印象ですね。」と語られる。そして三年前に一区切りをつけ、家業の「理容ホームラン」に戻った。
そして今年の十一月には再び全国大会に参加する。六十数名の精鋭たちが集結する。目標は？「もちろん優勝です」と力強いいわれる。
今、九州で最も大きい団体、

「ヘアスタイリッシュクラブ」のコンクール科に所属。毎週火曜日、福岡に出かける。そして週に一回は北九州の「コンテストクラブ」に。そこには全国大会で担当するモデルさんがいる。もちろんカットはできないが、スタイリングの練習に励んでいるようだ。大会に向け準備万端だ。
さて、ここで少し、「理容ホームラン」にもふれておこう。お店の特色はお客様の年齢層が広いこと。お子さんからお年寄りまで。また理容だけでなく、顔そり、フェイシャルエステにも力を入れている。通



ヘッドスパ



和宏さん(弟)の釣果

常料金にプラスαで、ヘッドスパもできる。
趣味は？「仕事が趣味のよくなものです。でも共に働いている弟は、釣りが趣味で昨年末五十三kgのマグロを釣り上げています。壱岐と対馬の中間の海域です。店内に飾っていますよ(笑)」。五十三kgのマグロはすごい！
さて夢は何だろうか。「今理容人口が減りつつあります。若い人は美容室に行きたがりません。そんな中、少しでも理容の良さを伝えていきたいと願っています。コンテストで優勝するのもその手段の一つ

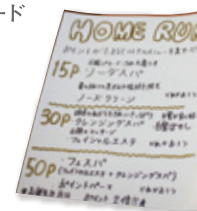


明るいご家族の皆さん

だと思っています。そして、常に考えながら、新しいサービスに取り組んでいきたいですね。」



紹介カード



ポイントカード